

1 次の計算をなさい。

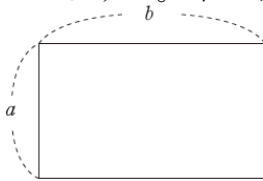
$$2 \times (-3)^2$$

$$2 \times (-3)^2 = 2 \times (-3) \times (-3)$$

18

2 次の各問いに答えなさい。

- (1) $6x - 4 + 2 - x$ を計算しなさい。
- (2) $(-18x + 6) \div 6$ を計算しなさい。
- (3) 次の図のような、縦の長さが a 、横の長さが b の長方形があります。このとき、 $2(a+b)$ は、何を表していますか。下のアからオの中から1つ選びなさい。



- ア 長方形の面積
- イ 長方形の面積の2倍
- ウ 長方形の周りの長さ
- エ 長方形の周りの長さの2倍
- オ 長方形の対角線の長さ

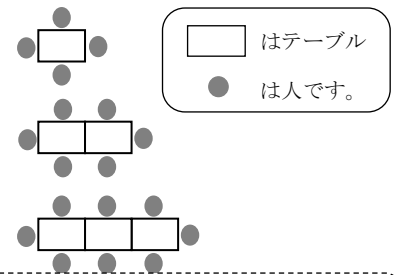
(1)	$5x-2$
(2)	$-3x+1$
(3)	ウ

- (1) $6x - 4 + 2 - x = 6x - x - 4 + 2$
- (2) $(-18x + 6) \div 6 = -18x \div 6 + 6 \div 6$
- (3) $2(a+b) = a+a+b+b$ です。

3 右の図のように、一列にテーブルを並べて、そのまわりに人が座ります。次の各問いに答えなさい。

- (1) テーブルの数を1, 2, 3, …とふやしていくと、座れる人の数はどのように変わっていくか、下の表を完成させなさい。

テーブルの数(個)	1	2	3	4	5	...
座れる人の数(人)	4	6	8	10	12	...



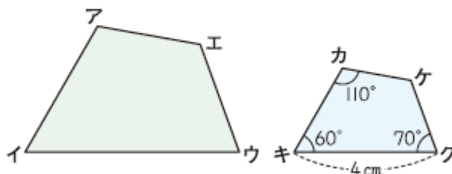
まずは具体的に書き出して答えましょう。机が一つ増えると人は何人増えるでしょうか。

- (2) テーブルの数が8個のとき、何人の人が座れるか答えなさい。
- (3) 24人座るには、テーブルが何個いるか答えなさい。

(2)	18人
(3)	11個

4 下の四角形アイウエは、四角形カキクケを1.5倍に拡大した四角形です。次の各問いに答えなさい。

- (1) 角イの大きさは何度か求めなさい。
- (2) 角エの大きさは何度か求めなさい。
- (3) 辺イウの長さは何cmか求めなさい。



(1)	60°
(2)	120°
(3)	6 cm

拡大や縮小をして元の図形とぴったり重なる図形は、元の図形と対応する角はすべて等しいことが知られています。コピーをする時の拡大縮小をイメージしてみましょう。(2)四角形の内角の総和は三角形2つ分です。(3)対応する辺の長さは拡大率倍されますね！

1 次の各問いに答えなさい。

(1) -10 より大きい負の整数を1つかきなさい。

数直線で -10 より大きい範囲を表してみましょう。

(2) $9 + (+4) \times (-5)$ を計算しなさい。

$9 + (+4) \times (-5) = 9 + (-20)$

(3) 下のアからエまでの計算のうち、次の2つのことが両方ともいえるのはどれですか。正しいものを1つ選びなさい。

- ・ a と b が自然数のとき、計算の結果がいつも自然数になるとは限らないもの
- ・ a と b が整数のとき、計算の結果がいつも整数になるもの

ア $a + b$ イ $a - b$ ウ $a \times b$ エ $a \div b$

自然数は正の整数と0を合わせたものです。引き算や割り算に注意しましょう。具体的な数を代入するとわかりやすくなります。

2 自動車が時速40 kmで走っています。

60 km進むには、何時間何分かかりますか。

「距離」=「速さ」×「時間」です。単位に注意しましょう。

1時間 30分

3 青色のテープと黄色のテープがあります。

青色のテープの長さは a m、黄色のテープの長さは b m です。青色のテープの長さは黄色のテープの長さの何倍であるかを a, b を用いた式で表しなさい。

$\frac{a}{b}$ 倍

「AがBのC倍である」という文章は「 $C = A \div B$ 」で表されます。ここでも単位に注意しましょう。

4 「1個 a 円の品物を2個買ったときの代金は1000円より安い。」

という数量の関係を表した式が、下のアからオまでの中にあります。

正しいものを1つ選びなさい。

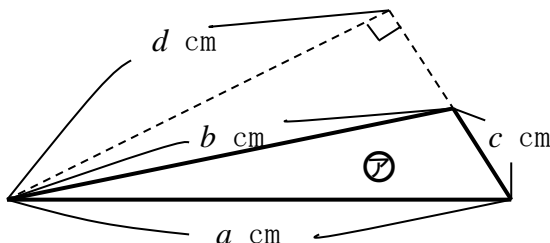
ア $2a \leq 1000$ イ $2a < 1000$ ウ $2a = 1000$

エ $2a > 1000$ オ $2a \geq 1000$

イ

「AはBより安い」という文章は「 $A < B$ 」で表されます。ここでも単位に注意しましょう。

5 下の三角形⑦の面積を表す式をかきなさい。



$\frac{cd}{2}$ cm^2

三角形⑦の底辺を c と見ると、高さは d と見ることができます。

1 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

- (1) $2 \times (-3^2)$ を計算しなさい。
 (2) 84 を素因数分解しなさい。
 (3) 一次方程式 $0.1x - 1 = 1.5$ を解きなさい。
 (4) 比例式 $6 : 8 = x : 12$ が成り立つとき、 x の値を求めなさい。

- (1) $2 \times (-3^2) = 2 \times (-1) \times 3 \times 3$ (2) $4 - (-15)$
 (3) 両辺を10倍します $x - 10 = 15$ (4) $8 \times x = 12 \times 6$

(1)	-18
(2)	$2^2 \times 3 \times 7$
(3)	25
(4)	9

2 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) y が x に比例し、比例定数が3のとき、 x の値とそれに対応する y の値について、下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア x の値と y の値の和は、いつも3である。
 イ y の値から x の値をひいた差は、いつも3である。
 ウ x の値と y の値の積は、いつも3である。
 エ x の値が0でないとき、 y の値を x の値でわった商は、いつも3である。

エ

(2) 比例 $y = 2x$ のグラフ上にある点の座標を、下のアからオまでのの中から1つ選びなさい。

- ア (2, 0) イ (2, 1) ウ (-1, 2) エ (0, 2) オ (1, 2)

- (1) y が x に比例し、比例定数が3のとき、 $y = 3x$ とかける。
 (2) $y = 2x$ に x 座標と y 座標の値を代入して等式になるかを確認します。

オ

3 反比例 $y = \frac{3}{x}$ の x の値とそれに対応する y の値について、下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア x の値と y の値の和は、いつも3である。
 イ y の値から x の値をひいた差は、いつも3である。
 ウ x の値と y の値の積は、いつも3である。
 エ y の値を x の値でわった商は、いつも3である。

ウ

$y = \frac{3}{x}$ は $xy = 3$ と変形できます。

4 下の表で、 x と y の関係が反比例の関係にあるものはどれですか。番号で答えなさい。

①

x	1	2	3	4	5
y	6	8	10	12	14

②

x	1	2	3	4	5
y	60	30	20	15	12

③

x	1	2	3	4	5
y	0.2	0.4	0.6	0.8	1

②

x と y の関係が反比例の関係にあるときは、表における上下の数の積が一定になります!

1 次の方程式を解きなさい。

(1) $15 : 9 = 5 : x$

(2) $0.1x + 1 = 1.5$

(1) $15 \times x = 9 \times 5$

(2) 両辺に10をかけて $x + 10 = 15$ と変形します。

(1)	$x = 3$
(2)	$x = 5$

2 次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 比例 $y = 3x$ の x の値とそれに対応する y の値の関係について、下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

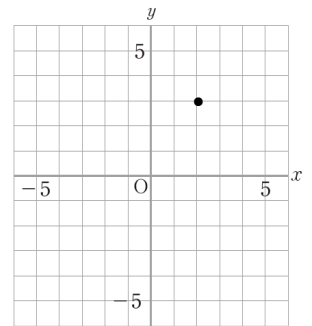
ア x の値と y の値の和は、いつも3である。

イ y の値から x の値をひいた差は、いつも3である。

ウ x の値と y の値の積は、いつも3である。

エ x の値が0でないとき、 y の値を x の値でわった商は、いつも3である。

(2) 点(2, 3)を、解答欄の図の中に・印で示しなさい。



(3) 下のアからエまでの表の中に、 y が x に比例する関係を表したものがありません。それを1つ選びなさい。

ア

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	-6	-3	0	3	6	9	12	...

ウ

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	4	3	2	1	0	-1	-2	...

イ

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	-12	-8	-4	0	4	8	12	...

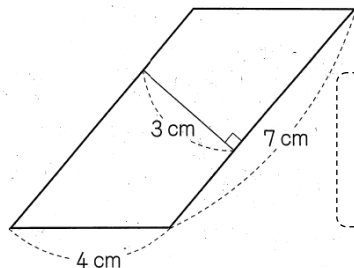
エ

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	9	4	1	0	1	4	9	...

正比例のグラフは、必ず原点を通る直線だったわね!



3 次の平行四辺形の面積を求める式と答えをかきなさい。



図形の真ん中に書かれている垂線を平行四辺形の高さに、交わっている辺を底辺とみなします。

式	7×3
答え	21 cm^2

連続する3つの整数の和がどんな数になるか調べます。

1, 2, 3 のとき	$1 + 2 + 3 = 6 = 3 \times 2$
3, 4, 5 のとき	$3 + 4 + 5 = 12 = 3 \times 4$
10, 11, 12 のとき	$12 + 13 + 14 = 33 = 3 \times 11$

これらの結果から、次のように予想できます。

予想

連続する3つの整数の和は、中央の整数の3倍である。

次の(1)から(3)までの問いに答えなさい。

(1) 連続する3つの整数が19, 20, 21のとき、下の□に当てはまる式を答えなさい。

19, 20, 21 のとき $19 + 20 + 21 =$ □

(2) 前ページの予想がいつでも成り立つかを説明しなさい。

理由の説明をするときは、「根拠」と「成り立つ事柄」の両方をきちんと書くようにすると、相手に明確に伝わります。

【正答の条件】

〈 $3(n+1)$ と計算している場合〉

次の(a), (b)を記述しましょう。

(a) $n+1$ は中央の整数だから、(根拠)

(b) $3(n+1)$ は中央の整数の3倍である。(成り立つ事柄)

〈 $3n+3$ と計算している場合〉

次の(c), (d), (e)を記述しましょう。

(c) $3n+3$ が $n+1$ の3倍になることを示している。(根拠)

(d) $n+1$ は中央の整数だから、(根拠)

(e) $3n+3$ は中央の整数の3倍である。(成り立つ事柄)

連続する3つの整数のうち最も小さい整数を n とすると、連続する3つの整数は、 $n, n+1, n+2$ と表される。それらの和は、

$$n + (n+1) + (n+2) =$$

例1 $3(n+1)$

$n+1$ は中央の整数だから、 $3(n+1)$ は中央の整数の3倍である。したがって、連続する3つの整数の和は、中央の整数の3倍である。

例2 $3n+3$

$$(3n+3) \div 3 = n+1$$

ここで $n+1$ は中央の整数だから、 $3n+3$ は中央の整数の3倍である。したがって、連続する3つの整数の和は、中央の整数の3倍である。

(3) 連続する3つの整数を、連続する5つの整数に変えた場合、その和がどんな数になるか調べます。

1, 2, 3, 4, 5 のとき $1 + 2 + 3 + 4 + 5 = 15$

5, 6, 7, 8, 9 のとき $5 + 6 + 7 + 8 + 9 = 35$

14, 15, 16, 17, 18 のとき $14 + 15 + 16 + 17 + 18 = 80$

連続する5つの整数の和は、中央の整数に着目すると、どんな数になると予想できますか。

上の予想のように、「～は、…になる。」という形で書きなさい。

例 連続する5つの整数の和は、中央の整数の5倍になる。

【正答の条件】 「○○は、□□になる。」という形で、次の(a), (b)または(a), (c)の条件について書かれている解答が正答になります。

(a) ○○が、「連続する5つの整数の和」である。

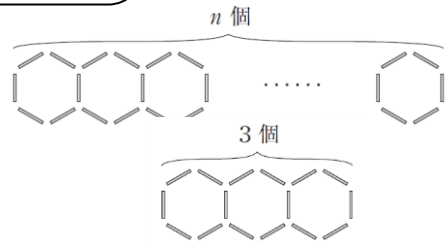
(b) □□が、「中央の整数の5倍」である。

(c) □□が、「5の倍数」または「中央の整数の倍数」である。

解説シート

中学1年 数学6

右の図のようにストローを並べて、六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を考えます。



例えば、六角形を 3 個つくるのに必要なストローは右の図のように、16 本です。

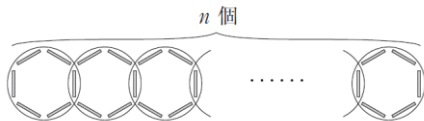
次の (1) から (3) までの各問いに答えなさい。

(1) 六角形を 5 個つくるのに必要なストローの本数を求めなさい。

26 本

(2) 図 1 のようにストローを囲むと、六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数は、次のように説明できます。

図 1



説明

ストローを図 1 のように囲むと、1 つの囲みにストローが 6 本ある。その囲みが n 個あるので、この囲みで数えたストローの本数は $6n$ 本になる。このとき、2 回数えているストローが 本あるので、必要なストローの本数は $6n$ 本より 本少ない。

したがって、六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $6n - (\text{input})$ になる。

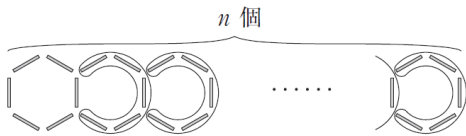
上の説明の には、同じ式が当てはまります。 に当てはまる式を、 n を用いて表しなさい。

(2) 六角形の数が、3 個のとき、4 個のとき、5 個のときを考え、そこから推測するのも 1 つの方法ですね。

$n - 1$

(3) 図 2 のように囲み方を変えてみると、六角形 $6 + 5(n - 1)$ という式で表すことができます。数を表す式が $6 + 5(n - 1)$ になる理由につ

図 2



説明

ストローを図 2 のように囲むと、

例 1 つの囲みにストローが 5 本ある。その囲みが $(n - 1)$ 個あるので、この囲みで数えたストローの本数は $5(n - 1)$ 本になる。このとき、左端に囲まれていないストローが 6 本あるので、必要なストローの本数は $5(n - 1)$ 本より 6 本多い。

したがって、六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $6 + 5(n - 1)$ になる。

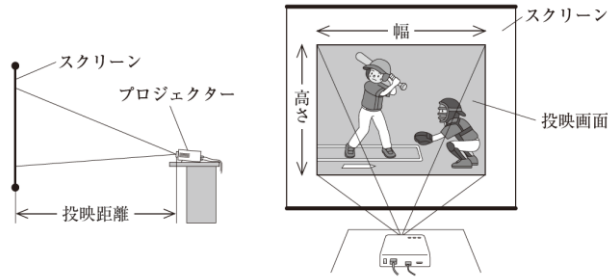
(3) 事柄が成り立つ理由を説明する場合は、「根拠」と「成り立つ事柄」の両方をきちんと書くと、相手により伝わる説明になります。この問題では、「成り立つ事柄」は一番下を書いてあります。なので、点線四角のなかには、「根拠」を書けばいいですね。

【正答の条件】 次の(a), (b), (c)について書きましょう。

- (a) 囲まれていないストローの本数が 6 本あること。
- (b) 1 つの囲みにストローが 5 本あり、その囲みが $(n - 1)$ 個あること。
- (c) 必要なストローの本数は、囲まれているストローの総数と囲まれていないストローの本数の和であること。

健治さんの学校では、新入生歓迎会のときに、体育館で部活動紹介の映像を流します。映像は、プロジェクターでスクリーンに映し出します。そこで、健治さんはプロジェクターの置き場所を決めるために、プロジェクターについてインターネットで調べました。

健治さんが調べたこと



投影距離 (m)	投影画面の大きさ		
	高さ (m)	幅 (m)	面積 (m ²)
1.0	0.6	0.8	0.48
1.5	0.9	1.2	1.08
2.0	1.2	1.6	1.92

- 投影画面の大きさは、投影距離によって変わる。
- 投影画面の形は、調整されて、いつも長方形になる。
- 投影画面の高さや幅は、投影距離に比例する。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 投影距離を x m、投影画面の高さを y m とするとき、 y を x の式で表しなさい。

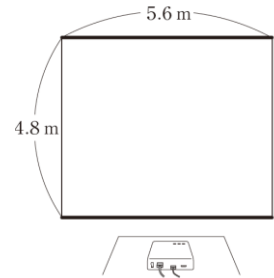
投影画面の高さは、投影距離に比例しているのだから、表のこの数値に着目して式を求めましょう。 $y = ax$ として、 x に 1.0、 y に 0.6 を代入して比例定数 a の値を求めて式を考えるのも、1つの方法ですね。

$$y = 0.6x$$

(2) スクリーンの高さは 4.8m、幅は 5.6m です。投影画面を、スクリーンからはみ出さないようにして、できるだけ大きく映し出すためには、投影距離を何m にすればよいですか。下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 5m イ 6m
ウ 7m エ 8m

スクリーンの高さと幅の両方を考える必要がありますね。



ウ

(3) 健治さんは、映像が暗くて見えにくいのではないかと気になりました。しかし、プロジェクターの光源の明るさを変えることはできません。そこで、映像の明るさについて調べると、映像の明るさと投影画面の面積の関係は、次の式で表されることがわかりました。

$$(\text{映像の明るさ}) = (\text{プロジェクターの光源の明るさ}) \div (\text{投影画面の面積})$$

このとき、映像の明るさを事柄が成り立つ理由を説明するときには、「根拠」と「成り立つ事柄」の両方をしっかりと記述すると、相手により伝わる説明になります。

ア 投影画面の面積を

【正答の条件】 イを選択し、次の(a)、(b)のいずれかについて書きましょう。

(a) 映像の明るさが投影画面の面積に反比例すること。

(b) 文字や数値を用いて、投影画面の面積を $1/2$ 倍にすると映像の明るさはいつも2倍になること。

記号 イ

説明

例1 映像の明るさは投影画面の面積に反比例するから、投影画面の面積を $1/2$ 倍にすると、映像の明るさは2倍になる。

例2 投影画面の面積を変える前の光源の明るさを a 、投影画面の面積を1とすると、映像の明るさは、 $a \div 1 = a$ 映像の明るさを $2a$ にするために、投影画面の面積を x にすると、 $2a = a \div x$ $x = 1/2$ よって、投影画面の面積を $1/2$ 倍にすると、映像の明るさは2倍になる。